

平成28年度「学校の森」取り組み内容アンケート回答用紙

学校名	兵庫県たつの市立新宮小学校 (都道府県より記載ください)
-----	------------------------------

1、御校の取り組みについて (該当する番号に○:複数回答可)

- 1) 全校の教育方針である ESD の重要な要素と位置づけている
- 2) 全校の教育方針である環境学習の重要な要素と位置づけている
- 3) 自校の特色ある学習と位置づけている
- 4) 総合的な学習の時間に相応しいテーマと位置づけている
- 5) 子ども達の自然体験機会が減少する中で貴重な体験学習と位置づけている
- 6) 地域に開かれた学校を目指す一環の授業と位置づけている
- 7) 様々な震災を受けて防災・減災を学ぶ授業と位置づけている
- 8) 屋外での授業に学習効果が見られることに着目して取り組んでいる
- 9) 特別活動 (児童会・生徒会等) として取り組んでいる。
- 10) その他 ()

2、森を活用する視点について (該当する番号に○:複数回答可)

- 1) 気づき、驚き、不思議等の自然に対する豊かな感性を養うことができる
具体的には、
 - ① 自然の中で伸び伸びと過ごすことで養われる感性
 - ② 森の多様性を前に生態系の繋がりを理解する感性
 - ③ 人の暮らしが自然と繋がっていることに思いを馳せる感性
- 2) 森の中で答えのない課題に取り組むことで教育的効果が高まる
具体的には、以下のようなコミュニケーション力が養われる
 - ① 主体的な行動、探究心、自分の考えを発表する力を誘発できる
 - ② 教室では消極的な子どもが積極的に行動できる
 - ③ 子ども同士で助け合い、皆で成長しようという行動を誘発できる
- 3) 森での体験を通じて学んだことはエピソード記憶として長期記憶に繋がる
- 4) 森では子ども達の集中力が高まり、学習を進めやすい
- 5) 先生以外の地域の人等が学習に参加することで子ども達の視野が広がる
- 6) 森という地域資源を学ぶことで地域を知り、更に地域を誇りに思うことで、そこに住む自分自身の有用感が高まる
- 7) その他 ()

3、学校の森の活動を行っている対象学年、年間時間数、授業科目等について

(下記の表の該当する欄に年間時間数を記入)

科目等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
国語									
社会									
算数・数学									
理科					5	5			
生活									
音楽									
図画工作・美術									
(技術・) 家庭									
(保健) 体育									
道徳									
外国語 (活動)									
総合的な学習			30	30	40	30			
特別活動									
その他									

特別活動で行っている場合の補足説明

(総合的な学習の時間には、隣接するこども園との交流が含まれている)

4、活動場所の状況について (該当する番号に○: 広さはおおよそで結構です)

- 1) 校庭の植栽木等のスペース (広さ ha) を活用
- 2) 近隣の公園の植栽木等のスペース (広さ 0.5ha) を活用
- 3) 学校の敷地内/隣接地にある森 (広さ 0.5ha) を活用
- 4) 学校から徒歩30分圏内にある森 (広さ 0.5ha) を活用
- 5) 学校から徒歩30分超圏にある森 (広さ ha) を活用

5、学校の森の活動開始時期について (下線部に記入)

西暦 2012 年から (内、中断 西暦 _____ 年から _____ 年まで)

(中断の理由: _____)

6、指導者について（該当する番号に○）

- 1) 先生が主体
2) 森林管理署、NPO、PTA等の先生以外が主体
3) 先生と森林管理署、NPO、PTA等の先生以外の協同態勢
4) その他（ ）
上記2) または3) に該当する場合の森林管理署、NPO等の学外団体の具体名
（ ）

7、PTAの関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 安全な活動を行う為の森の整備についてボランティア協力
2) 森の活動時の見守りに関してボランティア協力
3) 森の整備や備品の購入等の活動経費の支援協力
 4) 特段の支援はない
 5) その他（ 夏休みふれあい作業でのボランティア整備 ）

8、地域の協力の有無と内容について（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 地域の協力
 ① 有り ② 無し
2) 「有り」の場合の協力先の属性
① 森林管理署 ② 森林組合 ③ 自治体 ④ NPO等活動団体
 ⑤ 地域住民 ⑥ その他（ ）
2) 「有り」の場合の協力の内容
① 安全な活動を行う為の森の整備についてのボランティア協力
② 森づくりの専門的な領域等に関する指導の場面での協力
③ ノコギリ、鎌等の貸出し、木工の材料等の提供等での協力
 ④ その他（ 森の生き物の話 ）

9、校長先生の関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 積極的に推進役を果たしている
 2) 対外調整業務についてリーダーシップを発揮している
 3) 学校の森を担当する先生の意向を尊重して、ある程度任せている
4) その他（ ）

10、教育委員会の関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 教育委員会として積極的に支援
 2) 教育委員会としてはニュートラル

16、活動で困っていることについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) なし
- 2) フィールドが遠い
- 3) フィールドが整備されていない
- 4) 登る際の傾斜が急である
- 5) 指導者の協力が継続できるかどうか不透明
- 6) 森の整備の担い手がいなくなって活動の継続が不透明
- 7) 運営上の経費負担が大きく予算を継続できるか不透明
- 8) 安全管理面から活動内容が制約されること
- 9) 所有者との関係で森の使用が出来なくなる恐れがある
- 10) 教室内での授業時間増加の要請／学力低下
- 11) その他（)

16、自由記入欄

もともと 40 年前に移転した本校は、当時自然がなく、「自然の中でたくましく育てたい」が PTA の願いだった。木を植えたり、ビオトープを整備したりと積極的にされていたようだ。近年、その願いがとぎれ、荒地となっていた。4 年前、総合的な学習の時間の授業づくりに明るい教諭の赴任によって、ESD を起点としたカリキュラムができ、学校全体が子どもたちのキャリア形成に向け、再度、動き出した。（平成 27 年度兵庫県グリーンスクール表彰、文部科学大臣賞受賞）

学校経営方針など文書化されたものが提出可能であればコピーを同封して下さい。

以上アンケートに回答頂き、ありがとうございました。